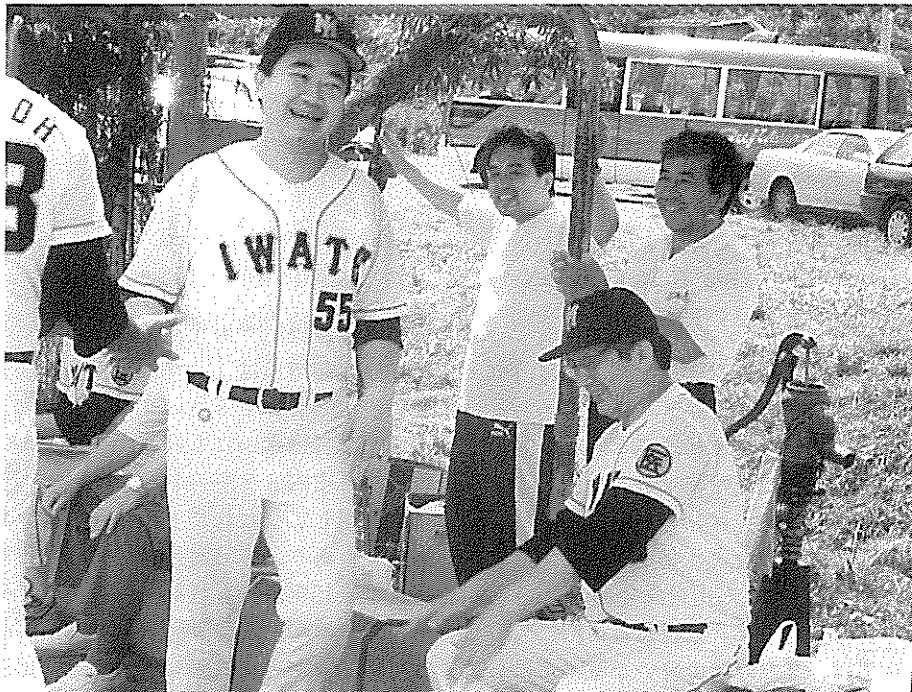


岩手郡医報

平成11年10月 No. 64
編集 発行
岩手郡医師会

題字 零石町高橋孝先生



勇躍ホームインし、ベンチへ帰る村井真也選手(中) (対県立中央病院B戦)

第51回岩手県医師会親睦野球大会は8月22日(日)宮古医師会の担当で、宮古市閉伊川緑地公園野球場他8ヶ所に分かれて開催された。わが岩手郡チームは第1回戦で岩手医大第一内科チームと対戦し、1対12の大差で敗退したが、敗者親善戦では、県立中央病院Bチームに10対9のサヨナラ勝ちを収めた。

猛暑の中、今年は大津(県立沼宮内病院外科)、植田(滝沢村開業)の新加入もあり、来年は盛岡市医師会の担当で盛岡市内での開催もあり、再び相手チームを圧倒できるよう期待したいものである。

(M・S記)

目 次

第51回岩手県医師会親睦野球大会	1 ~ 2	介護保険
第51回岩手県医師会親睦野球大会に参加して		§ 介護サービスの申請から利用まで… 9
三善 悟	3 ~ 4	§ どんなサービスがありますか? … 9
野球大会練習試合対滝沢村役場チーム	5	§ 要介護度に応じたサービス事例の
第33回岩手県医師会親睦ゴルフ大会		考え方(一例) … 10
齊木先生(シニアの部) 優勝	5 ~ 6	隨想「エッチだったんだ!」
「飛距離は貰える」齊木 巍	6	零石町 高橋 孝 … 11
第10回岩手郡医師会ゴルフ大会	7	行事予定 … 12
岩手郡医師会理事会	8	会員退会 … 12
岩手郡医師会理事会	8	編集後記 … 12
岩手郡医師会役員会	8	

第51回岩手県医師会親睦野球大会



開会式で挨拶する石川県医師会長

◇開会式◇

好天に恵まれた8月22日、早朝より宮古市閉伊川河川敷の緑地公園野球場に各チームともマイクロバス他で集まり、例年スタンドのある球場での開会式が殆どであったが、ここはグランドが砂地で、ベンチもスタンドもない平坦な場所での開会式となった。

大会会長（県医師会石川育成会長）は、「朝早くより御苦労様です。前夜宮古市内に入られた先生方は、まだ昨夜の酔いが覚めずにおられることと思います。今回51回目を迎える、宮古医師会の担当で、宮古市内8会場で開催されることになり、また、この宮古市の市長さん（熊坂義裕氏）は県医師会の会員であります。過去に会員で県内市町村の首長を務められた方は、大東町の及川正助先生（故人）に次いで二人目だと思います。

例年過去の栄光を追い、若いつもりでハッスルプレーをされて1人～2人のケガ人がでています。とてもとても甲子園のようなわけにはいきませんので、くれぐれも無理をされないで楽しいプレーに心がけてケガのないように頑張って下さい。ケガをされた場合傷害保険は少額となっておりますので十分気をつけて下さい。

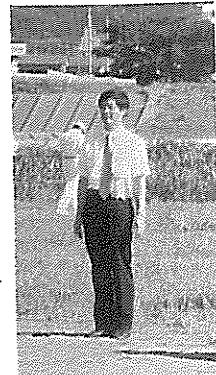
また今回より、宮古医師会のはからいで懇親会までの時間短縮、チーム数も21チームと多くなったこともあって2つのブロックに別けて（Aブロック、Bブロック）、新たに優勝旗を1つ新設しました。この2つのブロックについてネーミングを募集しております。

好天に恵まれた本日、大いに頑張って下さい。」と挨拶され、そのあと地元宮古医師会

担当：宮古医師会

日時：平成11年8月22日（日）

場所：宮古市閉伊川緑地公園野球場
他8ヶ所



宮古市長
熊坂義裕氏

長の挨拶、続いて地元宮古市長熊坂義裕氏は「ようこそ宮古市へおいで下さいました。本日は幸いにも好天に恵まれ市内8ヶ所の各会場を利用して行われますが、自分自身も医師会員でもあり、第51回目を迎える大会ですから、過去15年前にも当地で開催され、そのときはチームの勝利より懇親に力を入れましょうといいながら準優勝してしまった記憶がありますが、今回も同じ様にならなければと願っています。一日楽しい思い出を作つてケガのないよう頑張って下さい。」と祝辞を述べ、選手宣誓では宮古医師会の佐藤雅夫先生が、「ハッスルプレーでケガのないように、また明日の診療に差し障りの出ないように頑張ることを誓います。」と力強く選手宣誓をされた。

永年選手表彰では10回、20回、25回、30回、35回、40回、45回出場とあり、代表として45回出場の水沢医師会千葉政男先生がユニフォーム姿で堂々と表彰され、岩手郡からは20回出場の及川忠人、高橋克郎、遠藤哲夫の各先生が受賞された。

次期開催地医師会として盛岡市医師会小林高会長より「来年は8月27日（日）岩手県営球場をメイン会場に行う予定です。懇親会にも多数参加して下さい。」と挨拶があった。

そのあと審判長注意、連絡事項があつて、それぞれの一回戦会場地へと散った。

以下三善悟先生に試合経過も合わせて詳細な報告を掲載します。
(M・S記)

第51回岩手県医師会親睦野球大会に参加して

玉山村 八角病院 三 善 悟

平成11年の大会は、8月22日、吾が故郷宮古市に於いて、例年ない猛烈な酷暑の中で開催された。8月21日宿泊先の田老町グリーンピア田老へ向かうべく、高橋会長宅に伺い、奥様に冷たいお茶をごちそうになり、マイクロバスで出発。高橋会長、遠藤哲夫、久保谷康夫、吉田雅美、植田修の諸先生と私の6人である。他は当日出発、或いは近くに泊まり当日会場へ集合の予定である。

昨年の出発の日は、甲子園の決勝で、横浜高校の怪物松坂大輔投手がノーヒットノーランで優勝した日だったが、今年も奇しくも決勝で桐生一高が大勝し、大優勝旗が箱根を越えた日であった。

宿に着き、夕食後、鳩首してメンバー作成。佐々木久夫、及川忠人の両先生も合流した。

会場（閉伊川緑地公園野球場）が遠いので、朝食6:30、出発7:10、開会式会場へと向かう。8:00の開会式には当日組も合流しセレモニーが始まった。当医師会からの表彰選手は20回出場の、及川忠人、高橋克郎、遠藤哲夫の各選手である。

連日の猛暑で河川敷のグラウンドはカチンカチン。各球場へ散り試合開始のはずが、ライン引き不十分、ベースもなく小休止。準備完了し、プレーボール。相手は優勝候補の岩手医大第一内科。一回表、岩手郡ランナー2人出すも0点。一回ウラの医大一内は三塁打、二塁打、四球、死球となるも堅守で1点のみ。

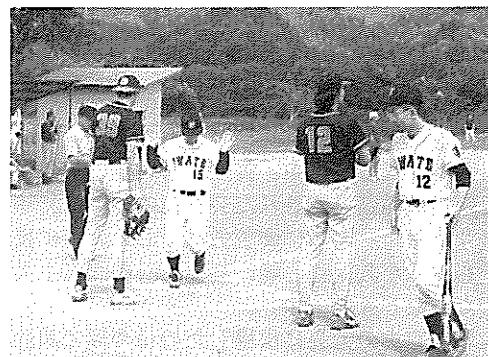


見逃し三振に倒れた小野靖之選手(右)
(対医大一内戦)

二回は相手投手の快投で3三振を喰らう。二回ウラ医大に内野強襲。内野野選とつけこまれ、ホームランを喫し、相手の20才代を含む選手の若さに走られ、エラーし、同じ選手に1イニング2本目のホームランを打たれるなど大量11点をとられてしまった。三回岩手郡

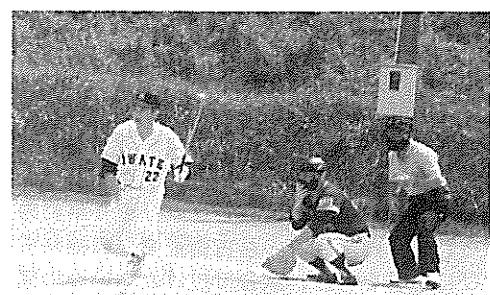
は嶋の三塁左のヒット、盗塁、村井の二塁打で1点返したが及ばず、一回戦敗退となった。

チーム	回	1	2	3	計
岩手郡		0	0	1	1
医大一内		1	11	×	12×

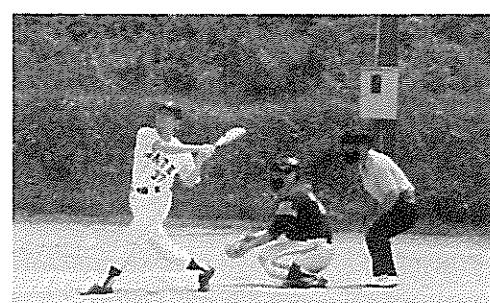


対医大一内戦貴重な1点となった
ホームインの嶋選手(右から3人目)

同じ球場で、敗者親善戦があるので、その前の試合、岩手医大一内ー花巻Aの試合を観戦。何れも優勝を狙えるチーム。試合巧者で鳴る花巻Aも一内の若さに勝てずサヨナラで一内の勝利。次いで岩手郡は県立中央病院Bチームとの敗者親善戦である。



主砲4番成島勝之助選手
(対県立中央病院B戦)



ヒットを打った小野靖之選手
(対県立中央病院B戦)

一回表、県病の攻撃、四球、投コロ、セカンド、ファーストと転送され見事なダブルプレー（ダブルプレーですよ!!）、三振と快調、一回ウラ岩手郡、二塁打、ヒット、ヒット、四球、四球、ヒットと続き4点先取。その後両軍疲労困憊。三回表県病に6点奪われ、9-7と2点差。三回ウラ岩手郡は本日初打席の遠藤とPH及川の連続二塁打で1点。（二人共表彰選手）村井のヒットで同点、四球を挟み土谷のヒットで逆転サヨナラ勝ちであった。

チーム	回	1	2	3	計
県立中央病院B		0	3	6	9
岩手郡		4	3	3×	10×

今年の猛暑の中、雲一つない空の下、河川敷の球場に遠征された会長他の皆さん、頑張りました。本当に御苦労様でした。特に捕手をやった久保谷、嶋、高橋(克)の諸先生大変だったと思います。

私が宮古の大会に出場したのは今回で四回目である。

初めが昭和32年、岩手医大小児科でインターン中、野球の試合に行かないか、と先輩達に誘われ喜んで参加。前の年まで硬式野球やっていた25才。バッテリーの年令制限もなく同級生3人と投げ、打ち、走り、優勝。（自慢になるが私はサードで4番、時に投手。）只義父がPHで出られた時はコントロール全く定まらず四球と記憶している。後で医師でない者が出場したと問題になったそうで、翌昭和33年は盛岡で紅白試合とプログラムにのっている。

二回目が昭和45年、モモタローズ（盛岡市産婦人科開業医チーム）で、ギックリ腰で休んでいるのに投手が居ないとムリヤリ車にのせられ、まだ未舗装の宮古街道で車の揺れるたびに悲鳴をあげ、試合で投げたらいつの間にか痛みが治っていた若い時もあった。

三回目の宮古大会は昭和59年、盛岡市医師会Bチーム、久慈、二戸を破り三回戦で盛岡

Aにジャンケン負け。その盛岡Aが優勝。その当時、30才代の良い選手を揃えたBチームが最強チームだった。

四回目が今年の大会である。

試合が終り懇親会場の宮古市磯鶴近江屋ホテルへ行くと、男・女浴場を解放しタオル、バスタオルが入口で渡された。過去にタオル買ったり、借りたりした会場が数多くあったので、この心遣いに感謝した次第である。

岩手郡の表示のあるテーブルに座し、大いに飲み且つ美味しい海の幸を食べ、他医師会へ挨拶に。チームは異なっても同窓会である。知った顔も毎年減るが、古い人と逢うと、又気持が若くなる。来年は盛岡。又皆で参加しましょう。私は皆と別れ、実家の菩提寺に参り先祖の墓に詣で、実家に寄り帰途についた。

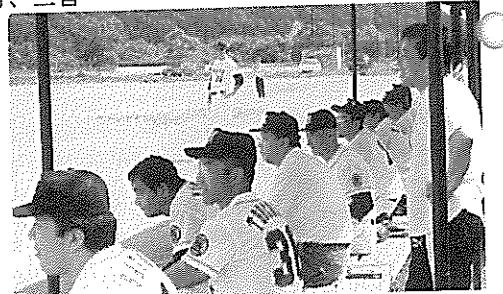
当日のメンバー紹介します。（先発）

【対岩手医大第一内科】 【対県立中央病院B】

(順番)	(氏名)	(守備位置)	(順番)	(氏名)	(守備位置)
1	村井	(遊)	1	村井	(三)
2	大津	(一)	2	大津	(一)
3	久保谷	(捕)	3	土谷	(投)
4	成島	(中)	4	成島	(中)
5	土谷	(三)	5	小野	(遊)
6	小野	(投)	6	吉田	(左)
7	吉田	(左)	7	植田	(右)
8	植田	(右)	8	高橋(克)	(捕)
9	嶋	(二)	9	嶋	(二)

控え選手：

高橋(牧)、佐々木(久)、及川、遠藤、篠村、三善



戦況を見守る岩手郡ベンチ



岩手郡医師会チーム



野球大会練習試合 対滝沢村役場チーム

嶋 信

7月24日午後4時より、前日来の大雨によるグランドコンディションが心配された滝沢村総合公園野球場において、岩手郡医師会野球チームは練習試合を行った。対戦相手は滝沢村役場職員チーム。午後からは雨も上がったが、外野の芝生にはやはり水溜まりがあり、土のダイヤモンド内も重く、足をとられて走るのに大変苦労する状況下で行われた。

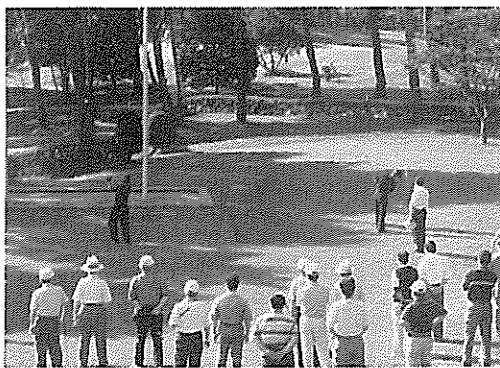
新たに会員として加入された植田修先生（滝沢村開業）も大いにハッスルし、本人は小学校以来の野球といいながら、するどい打撃を披露してくれ、本番（8月22日）での活躍が楽しみである。

本番参加予定の先生方の参加（小野、嶋、

植田、成島、遠藤、高橋（牧）、上原、篠村の各先生）も少なく、薬屋さんのメーカー、卸さんからの借り出しを受けてのわがチームは相手の滝沢村保健課、保健推進課のチームに堂々と打ち合いを挑み、4-9で敗れはしたものの本番へ向けての手ごたえを感じとった。試合終了後応援に来てくれた役場の保健婦さんを混じえて懇親会があり、お互いの労をねぎらった。参加された先生方、大変お疲れ様でした。

試合結果：

チーム	回				計
	1	2	3		
岩手郡医師会	1	3	0	4	
滝沢村役場	3	6	0	9	



ゴルフ大会での開会式（試球式）

風雨を伴った台風18号の去った9月26日(日)、水沢・江刺市両医師会の担当で、胆沢郡金ヶ崎町の栗駒ゴルフ俱楽部において、第33回岩手県医師会親睦ゴルフ大会が行われ、この会場は昨年（担当医師会－東磐井郡・気仙）に統いて同じ会場での開催となった。今大会は朝のうち快晴、微風、コースコンディションも順調な絶好のコンディションのもとで、南コース、西コース、東コースと3ヶ所より参加者123名でスタートした。

ここ栗駒ゴルフ俱楽部は昭和53年7月のオープンで、県内でも有数のゴルフコースであり、案内によれば

「青い空と深い緑の狭間に、白い弧を描いてゆく弾道。クラブを握るグリップを、まさに雄大な自然へと向けて、思い切り放つことができるのが全コースに及ぶ最大の魅力です。」とあるようにコースをカラマツ林でセパレート

第33回岩手県医師会親睦ゴルフ大会

とき：平成11年9月26日(日)
ところ：金ヶ崎町 栗駒ゴルフ俱楽部

齊木先生(シニアの部)優勝

トされ、当日は遠方に焼石岳、駒ヶ岳など奥羽山脈もくっきりと見え、コースロケーションは最高。今年の猛暑にも耐えた野芝のフェアウェーとベンガロスペントのグリーン（一部は砂が入っていたのでやりにくかった。）は、プレーヤーの腕次第というところか……。グリーンでは、3パット、4パットと状況をつかむのに四苦八苦している場面が多く見受けられた。

今大会岩手郡のプレーヤーは8名参加され、シニアの部で、齊木巖先生が、40、48ネット71.2で優勝、青年の部で成島勝之助先生が42、37ネット71.8で第2位と入賞され、他6名は善戦健闘されたが上位入賞はできなかつた。

また団体戦の都市医師会対抗戦では地元水沢・江刺市医師会チームが優勝し、第2位は盛岡市医師会チーム、第3位は一関市医師会チームとなった。

成績発表に先立ち石川育成県医師会長は今大会不参加であり、坪井日医会長と海外出張中（ニュージーランドへ）とのことメッセージが鷹賀県医師会常任理事より朗読され、大

会参加できなかったことを非常に残念がっておられた。

次期開催地は一関市医師会の担当で、「平成12年9月17日(日)みちのく古都C.Cで開催したいと思っております。多数の参加をお待ちしております」と挨拶があった。

尚、今回特別参加として自民党県会議員（山内隆文氏、菅原温士氏、工藤篤氏の3名）も会員に混じってプレーされた。また優勝した



松林に囲まれた栗駒ゴルフ倶楽部
(南No.6グリーン後方よりコースを望む)

齊木先生からは下記のような最近のゴルフについて寄稿をいただきました。

成績(岩手郡)

<シニアの部> 参加者30名

順位	氏名	東	南	西	グロス	ハーフ	ネット
①	齊木 嶽	48		40	88	16.8	71.2
⑪	坂井 博毅		44	44	88	13.2	74.8
⑬	小山田喜敬	47		52	99	24.0	75.0
㉗	細井 信夫	52	49		100	24.0	77.0

<壮年の部> 参加者35名

㉗	嶋 信	47	48	95	18.0	77.0
㉙	柄内 秀彦	44	51	95	16.8	78.2

<青年の部> 参加者28名

㉗	成島勝之助	37	42	79	7.2	71.8
㉙	吉田 雅美	56	53	109	28.8	80.2

<レディースの部> 参加者17名

㉗	坂井 洋子	59	53	112	32.4	79.6
---	-------	----	----	-----	------	------

<Gシニアの部> 参加者13名

参加なし

『飛距離は買える』



シニアの部優勝の齊木巌先生(左)
右は水沢医師会長千葉和夫先生

最近10年位は、徐々に飛距離が落ちて来て、以前はあの辺まで飛んだのになあと思いつつ、年だから、足腰を使わないからしようがないかと過ごしてきた。勿論、練習場などには行かない。練習場には行きたいのではあるが、膝、腰の痛みが心配である。また知らない人と月例に出てラウンドする元気もないまま、年に数回のラウンドがあれば多い方であった。

何気なく、ゴルフの週刊誌を見ていて、色々と新しいドライバーやボールが売り出されているのは知っていた。ゴルフの靴を買うのにゴルフショップに行った時に、評判の良いドライバーはこれで、ボールはこれで、ヘッドスピードなどからこの方が良いでしょうとす

県立沼宮内病院 齊木 巍

すめられた。何年か前に買ったボールは、まだ残っており、昔の様にO.Bになる位は飛ばないから、ボールだけが古くなっていく。店のご主人は「最近は飛距離は金で買えるのですよ。」とのことである。つい衝動買いでドライバーを求め、ボールも買った。

当然ながら、練習するわけではなく、ぶつけ本番である。9月4日に県立病院懇親ゴルフ大会が、栗駒ゴルフ倶楽部であり、110を超える位叩いて、あちこち充分に歩いて廻った。ドライバーは確かに以前よりは飛んだが全てスライスで、方向はほぼ一定しているようである。現在まではパーの取れる率の一番低いのはロングホールであったが、ロングホールとて3回振れば乗れるのだ。力も必要がないのだと自分に云い聞かせ、云い聞かセラウンドを行っている。

此の度の県医師会のゴルフは栗駒ゴルフ倶楽部であり、3週間前にラウンドしたのと同じコースであり、しかもあちこち充分に検討済みであった。ボールの感触にも慣れて違和感もなくなっていた。しかしそのうちにまた元に戻ることでしょう。

第10回岩手郡医師会ゴルフ大会

とき：平成11年10月17日(日)
ところ：松尾村安比高原ゴルフクラブ

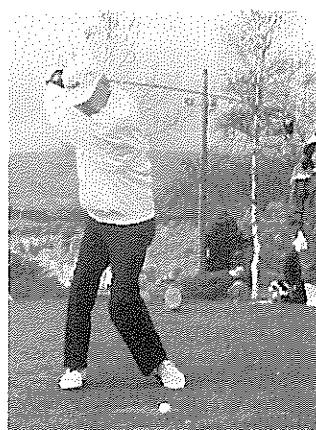
佐藤(郁)先生連続優勝

寒気団が居座り、寒冷前線の停滞する中、10月17日岩手山の初冠雪（昨年より3日早い）も見られた寒空のもと、第10回目の岩手郡医師会ゴルフコンペが松尾村の安比高原ゴルフクラブに医師8名、協賛メーカー（問屋も含めて）11名参加で行われた。

今回ドクターはいつもの顔ぶれから各々の都合もあって、参加者もやや少ない傾向であったが、メーカー側もだいぶ世代交代（？）新しい顔ぶれとなっていた。

周囲の紅葉も色彩やかとなり、スタート地点では小雪混じりで両手も冷え切って、身体の回りも鈍いスタートとなつた。

スタートすればボールはあっちこっちでも、気持ちはだんだん高揚し、グリーン上ではボールの走りがいいのか悪いのか見当もつかないまま3パットを繰り返し、午後には時折雨混じりの状態ともなり、フェアウェーのぬかるみを気にしながら、午後3時30分すぎにラウ



優勝した佐藤郁郎先生



高橋会長(左)と前回優勝の佐藤先生(右)の試球式
於安比高原G.C.(十和田コース)

ンドを終えた。

佐藤郁郎先生が、48、48の安定したスコアで、ハンディ21.6、ネット74.4となり前回に統いて優勝し、「最近は朝4時起きして散歩しているのが好結果につながった（？）。また次回も参加したい。」と話していた。

結果は下記の通り

【医師の部】

順位	氏名	十和田	岩手山	GROSS	HDCP	NET
1	佐藤 郁郎	48	48	96.0	21.6	74.4 優勝
2	齊木 巍	44	49	93.0	16.8	76.2 準優勝
3	嶋 信	44	49	93.0	15.6	77.4
4	三善 悟	44	51	95.0	15.6	79.4
5	柄内 秀彦	51	47	98.0	14.4	83.6
6	吉田 雅美	52	54	106.0	19.2	86.8
7	及川 忠人	63	57	120.0	30.0	90.0 B.B
8	高橋牧之介	58	61	119.0	26.4	92.6 B.M

【メーカーの部】

順位	氏名	十和田	岩手山	GROSS	HDCP	NET
1	谷内秀行	44	49	93.0	19.2	73.8 優勝
2	井上真宏	46	47	93.0	19.2	73.8 準優勝
3	郡司政一	49	47	96.0	18.0	78.0
4	鈴木 大	54	50	104.0	25.2	78.8
5	遠藤秀高	49	56	105.0	24.0	81.0
6	永山 康秀	48	55	103.0	21.6	81.4
7	遠藤正博	56	52	108.0	24.0	84.0
8	菅原昭広	54	59	113.0	27.6	85.4
9	藤沼 宏	54	63	117.0	30.0	87.0
10	奥村 裕史	59	51	110.0	20.4	89.6 B.B
11	藤沢周司	58	69	127.0	34.8	92.2 B.M



第10回ゴルフ大会参加者

岩手郡医師会理事会

日 時：平成11年7月8日(木)午後6:30～
 場 所：ホテルメトロポリタン盛岡本館
 出席者：高橋(牧)会長、西島副会長、八角、
 　　上原、根本、嶋、篠村、及川、坂井、
 　　柄内の各理事

◇連絡・協議事項

- 1) 介護保険－主治医意見書記入－研修会開催について
- 2) カルテ開示
- 3) 「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について
- 4) 生涯教育学術講演会開催について

- 5) 臨時総会について
- 6) 平成11年度結核予防・乳がん検診の講習会について
- 7) 病院管理学講座の開催について
- 8) 第51回岩手県医師会親睦野球大会について
- 9) 第33回岩手県医師会親睦ゴルフ大会のご案内
- 10) 平成11年度インターハイにおける医師派遣について
- 11) その他

岩手郡医師会理事会

日 時：平成11年8月19日(木)午後6時30分
 場 所：ホテルメトロポリタン盛岡
 　　NEW WING

出席者：高橋(牧)会長、高橋(孝)、西島の両副会長、及川、坂井、根本、嶋、上原、佐々木、篠村、八角の各理事

◇連絡・協議事項

1. 初期・二次・高次救急医療研修会のご案内
2. 「介護保険に関する説明会」開催並びに「講師等との懇談会」について
3. 「主治医意見書記入マニュアル」購入について
4. 日本医師会認定産業医制度における研修会指定について
5. 産業医活動に関する質問等の提出について

6. 労災診療費算定事務説明会の開催について
7. 第30回全国学校保健・学校医大会の参加申し込みについて
8. 国際高齢者年・WHOウォーターカンペーン世界と歩こう10.2ご協力のお願いについて
9. 衛星遠隔研修による「医療・看護の質と機能評価講座」の開催について
10. 医療保険改革に関する日医と自民党政調会長との合意について
11. 岩手県知事表彰（保健医療功労）の受賞候補者の調査について
12. 「会員の生涯教育講座」の開催について
13. 通常総会の開催について
14. その他

岩手郡医師会役員会

日 時：平成11年9月30日(木)午後6:00
 場 所：盛岡市大通り 梓

出席者：高橋(牧)会長、高橋(孝)、西島の両副会長、根本、柄内、佐々木、上原、及川、嶋、岡本、篠村、坂井、八角の各理事、細井、久保谷の両鑑事

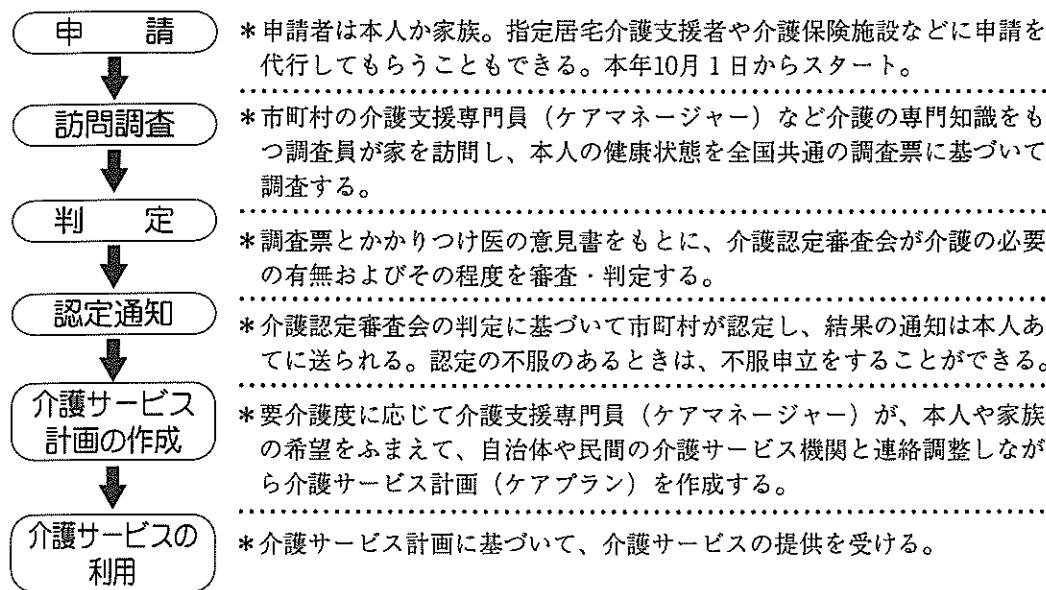
◇連絡・協議事項

1. 定款一部変更について
2. 岩手郡医師会選挙施行細則
3. 情報開示
4. 救急医療懇談会について
5. 第103回岩手医学会秋季総会について
 　　(H11年11月28日(日))
6. 平成11年度社会保険指導者講習伝達会について(H12年1月23日(日))

7. 主治医意見書の説明会
 　　(10月12日(火)pm 7:00 県医師会館)
8. 岩手郡医師会臨時総会について(11月20日(土)pm 3:00 ホテルメトロポリタン盛岡
 　　NEW WING)
9. コンピュータ西暦2000年問題に関する実態調査について
10. 健康教育開催について
11. 岩手郡医師会産業医実地研修会(10月16日(土)玉山村アルプス電気)
12. 第16回岩手県学校保健・学校医大会について(H12年1月16日(日))
13. その他
 　　医薬分業懇談会 (10.29於盛岡保健所)

・介護保険・

§ 介護サービスの申請から利用まで



§ どんなサービスがありますか？

介護保険で利用できるサービスは、大きく分けると在宅サービス（訪問サービス・通所サービス等）と施設サービスに大きく分けられます。在宅サービスは要介護・要支援の認定を受けた方、施設サービスは、要介護の認定を受けた方が利用することができます。利用できるサービスの種類は以下の通りです。

《在宅サービス》

A) 家庭を訪問するサービス

- (1)訪問介護
- (2)訪問看護
- (3)訪問リハビリテーション
- (4)訪問入浴介護
- (5)訪問診療
- (6)訪問歯科診療
- (7)訪問歯科衛生指導
- (8)訪問薬剤管理指導
- (9)訪問栄養食事指導

B) 通うサービス

- (1)通所介護（デイサービス）
- (2)通所リハビリテーション（デイ・ケア）

C) 短期入所するサービス（ショートステイ）

- (1)短期入所生活介護
- (2)短期入所療養介護

D) 福祉用具等のサービス

- (1)福祉用具の貸与
- (2)福祉用具の購入費支給
- (3)住宅改修費の支給

E) その他

- (1)痴呆対応型共同生活介護（グループホーム）
- (2)特定施設入所者生活介護

《施設サービス》

- (1)介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- (2)介護老人保健施設（老人保健施設）
- (3)介護療養型医療施設（療養型病床群・老人性痴呆疾患療養病棟）

§ 要介護度に応じたサービス事例の考え方（一例）

▷下記は厚生省が示した従来のサービスモデルを基本として、厚生省が示した例（平成10年度）です。（あくまで参考資料としてご利用下さい。）日本医師会提供資料より

区 分	サ ー ビ ス 事 例 の 考 え 方
要介護状態	▷機能訓練の必要性に鑑み週2回の通所リハビリテーション（デイケア）が利用できる水準。
要介護状態1	▷排泄、入浴、清潔・整容、衣服の着脱等に一部介助等が必要な状態であり、毎日、何らかのサービスが利用できるサービス水準。
要介護状態2	▷排泄、入浴、清潔・整容等に、一部介助または全介助が必要となる状態であり、かなりのリハビリテーションの働きかけができるよう、週3回の通所リハビリテーションまたは通所介護（デイ・サービス）を含め、毎日何らかのサービスが利用できる水準。
要介護状態3	▷排泄、入浴についての全介助のほか、清潔・整容、衣服の着脱に全介助が必要になることから、夜間（または早朝）の巡回訪問介護を含め、1日2回のサービスが利用できる水準。 ▷医療の必要度が高い場合に、週3回の訪問看護サービスが利用できる水準。 ▷痴呆については、かなりの問題行動が見られることから、週4回の通所リハビリテーションまたは通所介護を含め、毎日、サービスが利用できる水準。
要介護状態4	▷入浴、排泄、衣服の着脱、清潔・整容等の全般について全面的な介助が必要なることから、夜間（または早朝）の巡回訪問介護を含め、1日2～3回サービスが利用できる水準。 ▷医療の必要度が高い場合に、週3回の訪問看護サービスが利用できる水準。 ▷痴呆については、問題行動が一層増えることから、週5回の通所リハビリテーションまたは通所介護を含め、毎日、サービスが利用できる水準。
要介護状態5	▷生活全般にわたって、全面的な介護が必要なることから、早朝、夜間の巡回訪問介護を含め、1日3～4回程度のサービスが利用できる水準。 ▷医療の必要度が高い場合に、週3回の訪問看護サービスが利用できる水準。



随想

『エッチだったんだ！』

零石町 高 橋 孝

猛暑、猛暑、暑い、暑い夏でした、県医師会野球大会本当にご苦労様でした。遠い昔を思いだしたり、古里の思い出が繰り返し、繰り返しひルンに浮かびくるのは老化のためだろうか。

ホット湯田はご存知のとおり温泉の多い町で、昭和初期のバス、タクシー等交通機関が整備されていない頃は湯治客の布団、夜具を駅から湯治場まで背負い、生計の一部にしていた駄賃背負いが二、三十人はいた。当土用の丑の日は、温泉に入るとその年一年間風邪も引かず、健康で暮らせると言って、秋田県から多くの湯治客が来て道路は一杯、旅籠は一杯で廊下に宿をとる人も居た。戦時中は少しは少なかつただろうが、戦後また湯治場は混み、旅籠も一杯、風呂も一杯で、共同風呂の囲いも壊れて露天風呂になった所も湯治客で溢れ、盛り上がった。高校の頃、わざわざ四キロの途を歩いて、股間を腫らして露天風呂の秋田美人をのぞきに行ったことを思い出す。さて土用の丑の日は、今はうなぎを食する事になっている。曰く平賀源内がこの「ウナギ」に大きく関わっているようだが、暑さに茹だる土用に脂の多い、特殊なビタミンの豊富な、一口食しても分かる栄養満点のウナギを食して、健康に過ごせ！と教えたとか、独特の香ばしいウナギの匂いを散らしながら、焼いている店の前を奇才、科学者、画家、文人としても知られる平賀源内が通りかかったのか、あるいは老舗にウナギを食いに来たのか定かでないが、店の主人が店の名前の入った看板を書いてくれるように依頼したら、快く書いてくれて、ウナギの効用を説き、話した日が土用の丑の日だったと言うのが定説のようだ。何れ源内が関わっているのは確かのようだ。さて、前述の丑の日と湯治だが、宮

城、山形など温泉地を調べたが、此のような風習は無い。秋田県にこの風習が多いことから、土用の丑の日の風習として、源内が関わっているかと思い、源内が有名な秋田蘭画の陰影、遠近法を佐竹直武等に伝えるために秋田県の角館町を訪ねた史実があるので、湯治についても何かないか調べたが、角館町にもこの風習が無く、又源内と湯治に関する事柄も伝わっていない。昔丑湯治で盛った旅籠の古老人の話は「秋田の人達は祭りが大好きで、茹だる様な暑さのなか田畠で働きとうして、疲れて、昔から農耕作業に大いに役立ち、力持の牛にあやかり、その日に湯治をしてゆっくり休養し疲れを癒すと一年間風邪も引かず、無病息災で過ごせると考えて祭りを作ったのではないか」と話してくれた。この風習の真意は分からぬが、人には農作業に関わらず広い意味での作業が、他人と同じレベルで、同じ量をこなすを好むと言う本能的なものが備わっているように思う。私は農家だったが、雨も降らず、何日も何日も農作業が続くと疲れ果て、しかし一つの家だけ作業を休み、他所の家人達が働くと休んだ気がしないとして、今日はお祭りだと言って、部落が一齊に休む今の「連絡網」が回った、或いはこの牛湯治も、お祭り好きと、上方参りの人の口を通して、源内の丑とウナギと関連づけて生まれたのだろうか、何れおもしろく、意にかなった風習である。当時はそれぞれの風呂、特に共同浴場にはニックネームがついていたが、のぞき見たことを話し、家内に「エッチだったんだ！」と言われた。露天風呂は俗に「カサの湯」と呼ばれていた浴場だった。

行 事 予 定

- 平成11年10月24日(日)西根町西根中学校他2ヶ所において「岩手山噴火対策防災訓練」
A.M. 9:00~11:00
- 平成11年11月6日(土)P.M. 1:10~
於玉山村中央公民館
「第12回岩手地区学校保健・安全・給食研究大会」
講演：「落ち着きのない子の理解とその対応について」－注意欠陥多動障害－
講師：県立南光病院院長 山家 均先生
- 平成11年11月20日(土)P.M. 3:00~
於メトロボリタン盛岡NEW WING
「岩手郡医師会臨時総会」
1) 学術講演：岩手医大高次救急センター
鈴木智之先生
2) 文化講演：落語家 柳家金三氏
- 平成11年11月28日(日)A.M. 9:30~
於岩手県医師会館
「第103回岩手医学会秋季総会・救急医療講習会」
- 平成12年1月16日(日)於県医師会館
「第16回岩手県学校保健・学校医大会」
- 平成12年1月23日(日)A.M. 9:00~
於県医師会館
「平成11年度社保指導者講習伝達会」

会員退会

山田道夫先生
滝沢中央病院→沢内病院へ
H11年9月より

編 集

後 記

○7月以降の行事を主に締めました。岩手県内各地で8月1日より開催されたインテラハイ（全国高総体）があげられます。郡内でも各町村（葛巻町、玉山村、安代町を除く）で競技が行われ、医療班として参加された先生方、御苦労様でした。

○8月22日(日)には第51回県医師会野球大会が宮古市で行われました。今大会は新人の加入もあり、以前に比べ大分若返ったつもりでしたが、仲々エンジンのかかりが遅く、初戦敗退し、親善戦でもさよなら勝ちを収めましたが、後半に俄然打ちまくったエネルギーは来シーズン再びみられれば初戦突破も軽いものでしょう。

早目に始まった懇親会では、三陸の海の幸をふんだんに御馳走になり、今年もまたどこが勝ち残ったのか、優勝チームがどこかわからぬまま帰路につくことになりました。

○9月26日(日)には県医師会ゴルフ大会が、水沢・江刺市医師会の担当で昨年に引き続き同会場の栗駒ゴルフ倶楽部において行われ、各年代別のシニアの部で齊木巖先生が栄えある優勝を遂げられ、青年の部では年令差

で優勝を逃し（同スコア）2位となった成島勝之助先生が上位入賞となり、その他アトラクションとして行われたドライビングコンテストでは柄内先生と成島先生が獲得しました。団体戦としては上位入賞はあっても、その後に続くスコアが出なかった他の参加者は、次回に再び頑張って上位に入れるよう努力しましょう。

また郡医師会ゴルフコンペも10月17日(日)安比高原ゴルフクラブにおいて行われ、前回（平成11年6月6日於岩手沼宮内C.C.）優勝の佐藤郁郎先生が今回も優勝となった。朝から岩手山の初冠雪も見られ、小雪混じりの寒い空模様のもとスタートしたが、有力なシングルプレーヤーの方々が今回は欠席となり、レベルもややダウンしたのではないかと思われたが、ダブルペリアハンディにより優勝の行方は混沌としており、表彰式でもいつになく緊張しているように見えた。次回も会長はメーカーの方々の協力のもと年2回実施したいので多くの参加を期待しますと述べていた。

(M・S記)